

# お知らせ

## 第35回Neesima Room企画展

### 同志社の表徴—エンブレムとデザイン

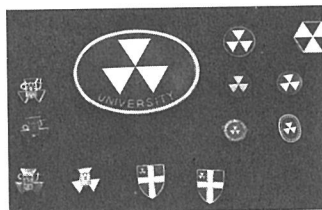
〈期 間〉 2009年4月1日(水)～7月31日(金)  
 〈時 間〉 10:00～17:00 (土・日曜日は16:00まで)  
 〈会 場〉 Neesima Room (同志社大学今出川キャンパス・ハリス理化学館2階)  
 〈閉室日〉 祝日、4月29日(水)～5月6日(水)

#### 公開講演会 | 視覚シンボルの意味とその理解

日時：2009年6月20日(土)  
 13:00～15:00

場所：至誠館3階会議室  
 (同志社大学今出川キャンパス)

講師：井上智義氏 (同志社大学社会学部教授)



〈お問い合わせ先〉 同志社社史資料センター

Tel. 075-251-3042

E-mail: ji-shasi@mail.doshisha.ac.jp

### 『同志社時報』ご購入について

より多くの皆さんにご愛読いただくために、118号 (2004年10月発行) から購読料が無料になりました。送料 (1冊につき切手200円) のみのご負担で定期購読いただけます。

#### ●定期送付のお申し込み

『同志社時報』は、4月、10月の年2回発行しています。新規・継続の定期送付をご希望の場合は、巻末はがき、電話、FAXまたはe-mailで大学広報課までご連絡ください。ご連絡をいただき次第、「申込み用紙」を送付いたします。「申込み用紙」到着後、必要事項をご記入いただきご希望号までの送料 (切手) を添えてお申し込みください。

#### ●バックナンバーのお申し込み

下記まで必要経費分 (購読料+送料) の切手を添えてお申し込みください。  
 〈購読料〉 1号～51号 100円 52号～78号 150円 79号～117号 200円 118号～ 無料  
 〈在庫切れ〉 29号、52号、54号、56号、71号、79号、91号、95号、119号、123号  
 〈送料〉 1冊につき200円

#### ●ご意見・ご感想をお聞かせください

ご意見・ご感想は、誌面に掲載させていただく場合があります。掲載させていただいた場合、記念品 (薄謝) をお送りします。巻末のはがき、お手紙、eメール等でお寄せください。

#### 同志社大学広報課 同志社時報係

〒602-8580 京都市上京区今出川通烏丸東入  
 電話 075(251)3120 FAX 075(251)3080  
 e-mail: ji-koho@mail.doshisha.ac.jp

## 読者のお便りから

○山々が粧う頃となりました。126号の女子大の挑戦、心強く拝読いたしました。良心を手腕に運用し、多岐にわたる活躍の場を得て、社会に貢献できる人材になることを、これからの同女大卒業生に望みます。私は、同窓会先輩方の洗練された品格のあるお姿をロールモデルとして同女大で学べたことを幸せに思い微力ながら母校や地域社会のお役に立てたならと思っています。

(高崎市 豊泉正子)

○『同志社時報』を毎号興味深く、好奇心をもって楽しく拝読しています。編集がうまく、内容も充実しています。この度、同志社と関係があった膳所教会牧師矢部喜好のことを『なんじ、殺すなかれ』という本にまとめて自費出版しました。彼は反戦平和を実践した人物です。同志社の人として、次は柏木義円のことを書こうかと思っています。

(東京都 吉福 博)

○藤村公平氏 (亀岡市観光協会事務局長) の記事で早慶ほど同門意識が強くないが「ほどよい同志社意識が私には心地よい。結末は緩いが皆母校に愛情を持っている。いわなくても通じ合っているのが不思議でそれが大事だ」と仰っている。同感です。それぞれアイデンティティーを持ちつつ、つながりを保つのがO.Purposeの校風であることを再認識しました。

(大阪市 花園堅二)

○同志社時報126号、藤原様のインタビュー記事を楽しく読ませていただきました。特に寮での青春時代のお話は懐かしい内容でした。同じ昭和34年大学卒業生として岩倉の紫明寮および大成寮でパシフィックな生活を4年間いたしました。当時の寮の委員として常盤寮の方とお話をしたこともあります。今後ともお元氣にてお過ごしください。

(堺市 鶴沢和長)

○同志社時報126号嬉しくかつ、楽しく拝読しています。特に「同志社人物誌98佐伯理一郎」〜熊本バンドの後裔〜甚だ興味があります。私の総長牧野先生か

ら「東の慶応、西の同志社」と名言を聞かされました。同志社には病院がないので、慶応とは少し。私はスポーツ、ことにラグビーが好きです。花園にも近いので正月に行ければと。年々、同志社時報の記事が新鮮かつ、タイムリーであることを願っています。

(奈良市 天竹薫信)

○小生、同志社で学びグリークラブで合唱に出会い、家内 (同窓) とも出会い自分の人生に全く悔いのない日々をすごしています。これも母校と新島先生のおかげと感謝しています。受洗もし、クリスマスチャンとして生活していますが最近教会内で同志社神学部の評判がもう一つ良くなりません。その一つは私たち信仰を持つものに一番大切な聖餐式に対する考え方が同志社出身の牧師に自由聖餐の考え方を持っている人が多いと聞きまして、同大の神学部の現状はどうなっているのでしょうか。

(箕面市 村上恵一)

○『同志社時報』を拝読して同志社大学に聴講生として学んでいる気持ちであります。

(仙台市 大久哲雄)